

講演概要

母親のみた

アメリカの学校教育

石坂さん紹介 石坂照子



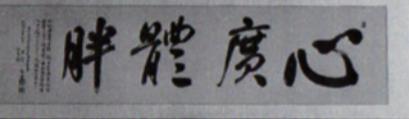
私は母校の演壇で後輩の皆様に何をお話していいのか演題が見付からず困りました。私が講演するには大抵学講演で、しかも英語で講演するのに馴れていましたので日本語で学術講座以外のものをすることは苦労いたします。いろいろと考えた結果、アメリカの教育について、私の息子が受けたアメリカの学校教育を母親の目から見て考えられたことをお話し申し上げることにいたします。

まず、アメリカの幼稚教育ですがここでは社会に対する責任感を徹底的に教え込みます。ナーサクースクールというのがあります。そこで学ばなければならないことは二才位の幼児が「アイ・アム・ソリ」、「サンキュー」ということです。分らない時は母親がそばにいて体罰を加えながらやつております。次の小学校教育は実際に「キンダーガーテン」という5才児教育でも同じで、とにかく幼児期においては将来的夢と、本当の自分の考え方があるのです。又中学校の教育は陽気でんびりしていまして、子供達は比べて2年位は遅れていると思ひます。しかしどんな生徒も自分の意見を持って発表することが出来ます。学力の点では日本に比べて居ります。私の息子はぐく過して居ります。又中学校の教育は陽気でんびりしていまして、子供達は彼等には将来の夢と、本当の自分の考え方があるのです。自分が芽生えてくるのです。自己をはつきり主張し、そして相手

私は母校の演壇で後輩の皆様に何をお話していいのか演題が見付からず困りました。私が講演するには大抵学講演で、しかも英語で講演するのに馴れていましたので日本語で学術講座以外のものをすることは苦労いたします。いろいろと考えた結果、アメリカの教育について、私の息子が受けたアメリカの学校教育を母親の目から見て考えられたことをお話し申し上げることにいたします。

まず、アメリカの幼稚教育ですがここでは社会に対する責任感を徹底的に教え込みます。ナーサクースクールというのがあります。そこで学ばなければならないことは二才位の幼児が「アイ・アム・ソリ」、「サンキュー」ということです。分らない時は母親がそばにいて体罰を加えながらやつております。

次の小学校教育は実際に「キンダーガーテン」という5才児教育でも同じで、とにかく幼児期においては将来的夢と、本当の自分の考え方があるのです。又中学校の教育は陽気でんびりしていまして、子供達は彼等には将来の夢と、本当の自分の考え方があるのです。自分が芽生えてくるのです。自己をはつきり主張し、そして相手



近藤哲さまの書（明治42年高女卒）
奈良女高師卒、母校勤務の後、東京で書道塾を開く。

心度體

もんべと三四郎

金子淳子

（旧姓伊藤・昭十六高女卒）

も野々宮さんもよし子も、だれもかれもが自由闊達に思をしている。

恋も文学も映画も、そしてスカ

トスラも禁忌で、それを行おうとすればいつも後ろめたい罪の意識

はあつた。ほんとうの学問をした人というのはこんな人達を言うの

だろうと、ふと思つたりもした。

以来、私は何度この三四郎を読んだことだろう。三十代には三十

代の、四十代には四十四代の生活の

中で、四十代には私

を考えこませ、新たな感動をよび

さまでくれた。だが、初めて読

んだ時の、あの胸のふるえるよう

な、初々しい感動には遠く及ばない。

いたことである。

朝毎に私はスカートをもんべか

の選択に迷つた。そして十日の一

月にはスカートを穿いて颯爽と登

校する。このはみでた行動が先生

の目に止まらぬ筈はない。どうと

う私は職員室に呼ばれてしまつた。

私はこの先生を尊敬していた。あ

の学校には珍らしくユーモアの分

かりなされて居ます。そつて行

くじけそうになりました。家庭に

入つて夫に又子供に十分に尽くし

てやりたいと思つた事も何度かあ

りましたが、その度に私を立ち直

らせてくれたもの。それは、この

川宇礼雄に似た彫りの深い顔を晏

らせ「規則は守つて貰わんとなあ」

と嘆息をつく。私は、今この先生

が私のためにみんなから非難され

ているのだと感じとつて、苦しか

った。私は一言もなく、負け犬の

よろこびを抱いて出口に向つた時、目

に入つたのは窓際に積まれてあつ

た漱石全集だつた。漱石は知つて

いた。父の貧しい蔵書の中にもあ

つたし、父がよく「漱石は文学じ

やない。哲学だ」と言つていたか

らだ。

入つて来た時よりも尚一層空し

い心を抱いて出口に向つた時、目

に入つたのは窓際に積まれてあつ

た漱石全集だつた。漱石は知つて

いた。父の貧しい蔵書の中にもあ

つたし、父がよく「漱石は文学じ

やない。哲学だ」と言つていたか</

啞鳴後援會特別教育活動助成協力募金中間報告

(1979. 9 . 22現在)

*受付順に記載

但し、音楽部卒業生は別にしました

(敬称略)

田真喜子	3,000円	S 32西高	かたえ子	20,000円	T 10高女	文子	20,000円	S 21. 22高女	岩貴子	3,000円	S 54
岡崎江	10,000円	T 13高女	ラ	10,000円	T 13 "	恭子	12,000円	S 37西高(3)	木藤真子	3,000円	S 53
岡崎勝子	5,000円	T 11実科	枝	40,000円	S 30西高	正子	5,000円	S 29西高(3)	大川純子	3,000円	"
伊藤千代江	3,000円	S 4高女	靖	5,000円		範子	3,000円	S 44西高	大河明子	3,000円	S 54
岡藤ふみ子	3,000円		みよし	10,000円	S 13女師	はる	3,000円	S 11高女	井橋清子	3,000円	S 50
岡崎ひろ子	3,000円	S 47西高	八重子	2,000円	S 40西高(5)	一八	5,000円	S 18女師	大河恵子	3,000円	S 54
堀愛子	5,000円	S 29西高	和栄	10,000円	S 4女師二部	五十嵐	2,000円	S 18 "	佐子	3,000円	S 51
伊藤てる江	3,000円		幸	2,000円		山口	3,000円	S 47	井橋慶子	3,000円	S 49
北野恒子	3,000円	S 32西高	秀	10,000円	T 15女師	伊藤美知子	11,000円	S 34	牧孝子	3,000円	S 53
木藤登喜子	3,000円	S 14高女	ツ	10,000円	T 12高女	芳二子	10,000円		京涼子	3,000円	S 49
斎藤やよ子	3,000円	S 7 "	ネ	10,000円	T 9 "				博教子	3,000円	S 44
伊藤順子	3,000円	S 53西高	代	10,000円	S 17 "				敬富子	3,000円	S 52
小笠原節子	3,000円		能	40,000円	S 33西高(1)~(4)	結城	9,000円	S 45	池中	3,000円	S 50
佐藤きよ子	3,000円		礼	10,000円	S 39 "	洋子	6,000円	S 49	黄荒	3,000円	S 52
岡崎優子	4,000円	S 43西高	登	10,000円	S 42 "	柏木	6,000円	"	武多	3,000円	S 53
岡崎わか子	3,000円		昭	10,000円	S 20高女	浦	5,000円	S 47	草豊	3,000円	S 52
見立千代子	3,000円	S 6高女	静	10,000円	" "	三佐	4,000円	S 46	保柴	3,000円	S 48
後橋ち竹寿子	15,000円	S 12 "	シケ	20,000円	S 34西高(3)	田柏	3,000円	S 51	柴佐	3,000円	S 53
倉倉口千代子	10,000円	S 2 "	子	10,000円	S 17女師二部	秋斎	3,000円	S 52	花板	3,000円	S 51
相馬密子	10,000円	S 17 "	と	10,000円	T 11実科	丹	3,000円	S 53	東海	3,000円	S 53
大根弘子	10,000円	S 31西高(4)	し	10,000円		柏	3,000円	S 46	林田	3,000円	S 49
宮友美子	10,000円	S 18高女(1)	たかの	2,000円		遠	3,000円	S 46	田原	3,000円	S 52
木森フミ子	10,000円	S 13 "	富	2,000円		丹	3,000円	S 54	田刈	3,000円	S 50
本塚房子	10,000円	S 4 "	ミツエ	2,000円		柏	3,000円	S 54	中科院	3,000円	S 52
大宮博子	20,000円	S 6高女(1)(2)	渡	10,000円	T 8実科	渡	3,000円	S 54	田藤	3,000円	S 52
永遠基	10,000円	S 16女師二部	辺	10,000円	S 11高女	工	3,000円	S 54	屋垣	2,000円	S 50
藤芙蓉子	20,000円	S 28西高	き	10,000円	S 16女師	藤	3,000円	S 54	林田	2,000円	S 54
最原栄子	1,000円		よ	10,000円	S 14女師	富	3,000円	S 52	谷部	2,000円	S 53
大佐野よさ子	1,000円		よ	10,000円	S 34西高(4)	士	3,000円	S 52	太植	2,000円	S 53
佐佐木わいせき	1,000円	T 7実科	く	10,000円	S 14女師	田	3,000円	S 48	若中	2,000円	S 53
井國尾以	1,000円		モ	10,000円		村	3,000円	S 48	近	2,000円	S 53
国尾麗子	3,000円	旧職員	ト	1,000円		山	3,000円	S 53	阿池	2,000円	S 52
牧安松子	1,000円	S 36西高	ふ	1,000円	T 9実科	山	3,000円	S 53	太植	2,000円	S 52
大安松子	5,000円	T 5高女	ヤ	1,000円		岡	3,000円	S 53	若中	2,000円	S 52
大金日高	50,000円	S 27 "	イ	1,000円		斎	3,000円	S 53	近	2,000円	S 52
日高鬼一	10,000円	T 15 "	シ	1,000円	S 34西高(1)	藤	3,000円	S 53	阿鈴	2,000円	S 53
谷野会	10,000円	T 7 "	エ	10,000円	S 7高女(1)(2)	原	3,000円	S 54	斎野	2,000円	S 54
谷野会	10,000円	S 23.24.25高女	カ	20,000円		英	3,000円	S 51	希芳子	3,000円	"
谷野会	30,000円		松	11,000円	S 31 "	江	3,000円	S 53	三記子	3,000円	S 53
谷野会	10,000円	S 2女師	浦	3,000円	S 8女師	光	3,000円	S 52	裕子	3,000円	S 54
谷野会	10,000円	S 3高女	岡	15,000円	T 8高女	岡	3,000円	S 53	仁	3,000円	S 53
谷野会	20,000円	S 16 "	野	10,000円	S 34西高(1)	野	3,000円	S 46	圭	3,000円	S 54
谷野会	10,000円	T 14 "	倉	20,000円	S 7高女(1)(2)	藤	3,000円	S 54	潤	3,000円	S 50
谷野会	5,000円	S 3女師二部	倉	20,000円	S 9 "	倉	3,000円	S 52	澤	3,000円	"
谷野会	10,000円	S 18高女(2)	下	40,000円	S 32西高(1)~(4)	下	3,000円	S 54	重	3,000円	S 54
谷野会	5,000円	T 9女師	野	28,000円	S 41 "	野	3,000円	"	子	3,000円	"
谷野会	5,000円	T 9女師二部	桐	5,000円	T 6高女	野	3,000円	"	子	3,000円	S 54
谷野会	5,000円	S 9女師二部	水	10,000円	T 12実科	野	3,000円	S 53	子	3,000円	S 54
谷野会	20,000円	S 26高女(1)~(4)	水	10,000円	S 35西高(1)	野	3,000円	S 46	島	5,000円	S 44
谷野会	10,000円	S 15 "	木	10,000円	S 9 (2)	木	3,000円	S 51			
谷野会	5,000円	S 13女師二部	佐々木	10,000円	S 9 (3)	木	3,000円	S 53			
谷野会	5,000円	S 20高女(3)	佐々木	10,000円	S 9 (4)	木	3,000円	S 52			
谷野会	10,000円	T 39西高(2)	佐々木	10,000円	S 9 (5)	木	3,000円	S 51			
谷野会	10,000円	T 14 "	佐々木	20,000円	S 9 "	佐々木	3,000円	S 54			
谷野会	5,000円	S 3女師二部	佐々木	40,000円	S 32西高(1)~(4)	佐々木	3,000円	S 54			
谷野会	10,000円	S 18高女(2)	佐々木	28,000円	S 41 "	佐々木	3,000円	S 53			
谷野会	10,000円	T 9女師	佐々木	5,000円	T 6高女	佐々木	3,000円	S 53			
谷野会	10,000円	S 3高女	佐々木	10,000円	T 12実科	佐々木	3,000円	S 53			
谷野会	20,000円	S 16 "	佐々木	10,000円	S 35西高(1)	佐々木	3,000円	S 46			
谷野会	10,000円	T 14 "	佐々木	10,000円	S 9 "	佐々木	3,000円	S 51			
谷野会	5,000円	S 3女師二部	佐々木	28,000円	S 41 "	佐々木	3,000円	S 53			
谷野会	10,000円	S 18高女(2)	佐々木	5,000円	T 6高女	佐々木	3,000円	S 53			
谷野会	5,000円	T 9女師	佐々木	10,000円	T 12実科	佐々木	3,000円	S 53			
谷野会	5,000円	S 9女師二部	佐々木	10,000円	S 35西高(1)	佐々木	3,000円	S 46			
谷野会	20,000円	S 26高女(1)~(4)	佐々木	10,000円	S 9 "	佐々木	3,000円	S 51			
谷野会	10,000円	S 15 "	佐々木	2,000円	S 5 女師二部	佐々木	3,000円	S 50			
谷野会	5,000円	S 13女師二部	佐々木	5,000円	S 2 "	佐々木	3,000円	S 53			
谷野会	5,000円	S 20高女(3)	佐々木	20,000円	S 10高女	佐々木	3,000円	S 52			
谷野会	10,000円	T 39西高(2)	佐々木	10,000円	S 14 "	佐々木	3,000円	"			
谷野会	10,000円	T 9実科	佐々木	1,000円	T 9実科	佐々木	3,000円	S 54			
谷野会	10,000円	S 39西高(2)	佐々木	1,000円							

昭和 54 年度会費納入状況

◎女師

T 15 本科	1,000円	渡辺 て る秀	T 14	2,000円	丹野 ト よ川子	ト 20 4卒1組	1,000円	中原 えい子	S 35 3組	* 1,000円	米本 美智子
T 15 二部	1,000円	金森 さ ズエ	T 15 1・2組	2,000円	大沼 コキ	S 20 4卒2組	1,000円	美枝子	S 35 4組	* 1,000円	井上 サチ子
S 2 2 二部	1,000円	遠藤 スズエ	S 2	5,000円	後藤 宮子	S 20 4卒3組	1,000円	光子	S 35 5組	* 1,000円	長岡 美子
S 3 2 二部	1,000円	島恭子	S 3 1~3組	3,000円	場 場 慶子	S 21	5,000円	文子	S 36 1組	* 1,000円	佐藤 紀子
S 3 4 二部	1,000円	島幸子	S 4	2,000円	桜宮 愉房	S 23 4卒	3,000円	清須	S 36 2組	* 1,000円	佐藤 紀子
S 6 二部	1,000円	山口 幸子	S 5	2,000円	森本 博ヨ	○西高			S 36 3組	* 1,000円	小笠原 晓子
S 6 二部	1,000円	木口 知子	S 6 1・2組	2,000円	大築田 シイ子	S 26 1組	1,000円	細谷 子	S 36 4組	* 1,000円	矢野 淑子
S 8 二部	1,000円	浦知力	S 7	2,000円	竹下 房ヨ	S 26 2組	1,000円	鈴谷 子	S 36 5組	* 1,000円	加藤 百合子
S 9 二部	1,000円	大築 節子	S 9 1・2組	2,000円	下藤 歌セ	S 26 3組	1,000円	曾根田 子	S 42 4組	1,000円	井口 登美子
S 10 二部	1,000円	橋高子	S 10	2,000円	佐藤 ま子	S 26 4組	1,000円	黒沢 千枝子	但し、*	は昨年度納入	●は55年度分を含む
S 11 本科	1,000円	鬼海 夕カ	S 11	2,000円	富士田 輝	S 27 1~5組	5,000円	安朋子	○篤志寄付		
S 13 本科	1,000円	荒井 八重子	S 13 1・2組	2,000円	奥山 大英	S 28 4組	2,000円	遠美子	萱野 松江	10,000円	
S 13 二部	1,000円	田中 みさ子	S 14 1・2組	2,000円	玉井 合	S 29 3組	1,000円	吉田正	M41高女		
S 14 本科	1,000円	武田 いく	S 15	2,000円	川合 大鶴	S 30 1~4組	4,000円	鍋倉 穗	近藤 哲	20,000円	
S 14 二部	1,000円	郷野 チヨ子	S 16	3,000円	森谷 林	S 31 3組	1,000円	倉吉子	M42高女・旧職員		
S 16 本科	1,000円	坂元 ヤエ	S 17 1組	2,000円	斎藤 谷代	S 32 1~4組	●12,000円	片桐子	谷口 美代	10,000円	
S 16 二部	1,000円	永沼 高橋	S 17 2組	2,000円	樋口 馬子	S 33 1組	* 1,000円	佐治子	M42高女・旧職員		
S 17 二部	* 1,000円	大場 し	S 18 1組	1,000円	相柳 啓子	S 33 2組	* 1,000円	石原子	木口 マサエ	5,000円	
○高女			S 18 2組	1,000円	高柳 ハナ子	S 33 3組	* 1,000円	黒沢八重子	S 22高女 5卒・現職員		
T 7	2,000円	金谷 喜久	S 19 1組	1,000円	稻村 トキ子	S 33 4組	* 1,000円	佐藤洋子	山口 賴子	5,000円	
T 9	2,000円	中山 喜久	S 19 2組	1,000円	渡辺 昭子	S 34 1組	1,000円	静江子	S 36西高・現職員		
T 12	1,000円	小嶋 ツネ	S 20 5卒1組	2,000円	橋渡 静み	S 35 1組	* 1,000円	丹羽令子	合計	181,000円	(12. 5現在)
T 12 実科	1,000円	伊藤 淑子	S 20 5卒2組	2,000円	藤野 駿	S 35 2組	* 1,000円	木村京子			
T 13	1,000円	中村 大沼	S 20 5卒3組	2,000円	藤野 浩						

編集記

編 集 記
—三十分の貴重さを知る—

に増額方、よろしくお願ひ申し上げます。

注 今年度は昭和四十四年卒のクラスまで納入することになります。来年度は昭和四十五年卒のクラスまでの納入になります。つまり卒業後十年経過した学年から納入することになりますので、一年一年納入学年が下がって行きますのでよろしくご諒承下さい。

ますので、今までの各々の不
一、〇〇〇円の会費を、
昭和五十五年度から

名簿もさる四十七年に発干以来
すでに数年、加除訂正も必要な時
になつております関係もあつて、
経費も相当かさむことが予想され

同窓生みなさまの、平常のご協力により、活動を続けてまいりましたこと、厚くお礼申し上げます。

今回は、同窓会総会で、名簿を新しく整理発刊するよう、決議をいただきました。

年会費増額のお願い

會務報告

昭和55年1月31日発行

嚶鳴同窓會報

- # 会務報告
- 昭和54年1月9日(火)
会報編集委員会（原稿校正）更に
二校・三校と重ね1月16日完成。
 - 1月24日に編集委員会を開き発送
事務。三千部発送。
 - // 2月7日(木)
昭和54年度当番学年幹事第一回打
合せ会（総会日程9月23日。会
場・講師の協議など）
 - // 3月3日(土)
第二回当番学年幹事打合せ会
 - 会場（母校体育館）講師（草柳大
藏氏）役割決定等
 - // 2月28日(木)
評議員總務係・母校協力係会（ア
ンケート集計・母校協力・同窓会
入会の件）
 - // 3月7日(木)
嚙鳴同窓会入会式、山形西高第25
回卒業生を同窓会員として迎える。
 - // 4月11日(水)
校内理事会（事務分掌・日程等）
 - // 4月18日(水)
校内理事歓送迎会 安食・阿部先
生を送り、栗野・木口・山口先生
を新たに校内理事として迎える。
 - // 4月21日(土)
会計監査
 - // 4月28日(土)
第一回評議員会（決算報告並びに
予算審議。嚙鳴後援会の負担金に
ついて。教育助成金協力募金。新
名簿発行。行事予定等。）
 - // 5月17日(木)
第一回名簿発行委員会
 - 昭和55年2月末発行をめどに作業
をはじめることになった。
 - // 5月26日(土)
評議員、クラス幹事合同会議（嚙
鳴後援会教育助成金協力のお願い。
寄附金・決算等の収支報告・今年
度は名簿発行を見送るが、名簿原
稿はクラス毎に整理し、原簿を8
月末まで提出）
 - 5月30日(水)
第三回当番学年幹事打合せ会（ブ
ログラム・入場券・広告等の手配
日程等）
 - // 6月3日(日)
東京同窓会支部総会出席（高橋会
長・誉田校長・大場真藏・大宮文
子各先生・会員80名）
 - // 7月6日(金)
嚙鳴会館階下和室クーラー二基取
りつけ工事を完了。

53年度同窓会経常費決算書

53年度収入の部

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
入会金	540,000	540,000	0	2,000円×270
繰越金	0	0	0	
雑収入	5,000	32,382	27,382	今井さんより篤志・利子
会費	170,000	152,000	△18,000	
計	715,000	724,382	9,382	

53年度支出の部

項目	予算額	補正額	決算額	残額	摘要
総会費	60,000		60,000	0	
会議費	55,000	1,820	92,570	0	慶弔費・会報発行費より 流用受 (35,750円)
印刷消耗品費	130,000		129,500	0	母校生徒後援費・会議費 へ流用 (500円)
通信費	20,000		16,630	0	母校生徒後援費へ流用 (3,370円)
慶弔費	40,000		90,240	0	慶弔費より流用受 (50,240円)
母校生徒後援費	140,000		63,860	0	母校生徒後援費・会議費 通信費へ流用(76,140円)
会員後援費	30,000		67,220	0	予備費・旅費・会員後援費・ 消耗品費・慶弔費・諸費・会 報発行費より流用受
交通費	20,000		15,000	0	母校生徒後援費へ流用 (5,000)
会長交際費	60,000		45,800	0	母校生徒後援費へ流用
入会記念品費	30,000		30,000	0	
諸費用	30,000		30,000	0	
会報発行費	80,000		76,000	0	
予備費	20,000		0	0	母校生徒後援費へ流用 (4,000円)
計	715,000		716,820	0	会議費・母校生徒後援費 へ流用 (20,000円)

724,382円 - 716,820円 = 7,562円は来年度へ繰越

54年度經常費予算（案）書

項 目	予 算 額	53 年 度	増 減 額	摘要
入会金	538,000	540,000	△ 2,000	269×2,000
繰越金	7,562	0	7,562	
雑取入	3,000	5,000	△ 2,000	
会費	140,000	170,000	△30,000	
合計	688,562	715,000	△26,438	

子 算 檢 52 年 底 66.58(△) 未定 100

項 目	予 算 額	53 年 度	増減(△)	摘要	要 求
總 会 費	60,000	60,000	0		
会 議 費	55,000	55,000	0		
*後 援 費	55,000	50,000	5,000	母校生徒・会員後援	
印 刷 費	130,000	130,000	0	会報発行・その他	
事 務 費	35,000	20,000	15,000	消耗品・会計手当	
通 信 費	50,000	40,000	10,000		
慶 弔 費	70,000	140,000	△70,000		
交 通 費	70,000	60,000	10,000		
入会記念品費	20,000	30,000	△10,000	基本金へ返金の分	
*諸 費	140,000	110,000	30,000	クラブへ提出 会長交際・その他	
予 備 費	3,562	20,000	△16,438		
計	688,562	715,000	△26,438		

見るもののか心を、楽しませて
れるこれららの花々も、手をかけ
ければ、美しく開花しない様に
この会報も、その時々の充実し
ものにする為に、どうぞ、皆様
お声をお寄せ下さいませ。

(昭三五卒 堤 佳子)

編集会議を中止して出かけた
は、十一月もなかばの晝り空で
がうかびました。

お寺の本堂の薄暗がりの中で
白くうかんでいた菊の花。なぜ
御子息の白の袴とその白菊が、
ましく、淋しい感じがいたしま
た。

病に犯されていたのも氣づか
に、人生を耐える事で我慢強く
生きぬいた方ではなかつたのか
らと、学生時代のおとなしい面
がうかびました。

私達の年代は、戦後に女学校
入学し、出来たてのはやほの、
主々義の教育を受けたものの、
学校時代は戦中で、ほしがりま
ん勝つまでは、と教えられ、手で
りながらも、どんな時代でも強
生きてゆける適応性をそなえて
ります。

割り切れないものを感じながら
も、多勢の家族の中で姑に仕え
夫に仕え、子供を育ててきた人
沢山おります。又、新しい女性
生き方を示してくれる人や、翔
てる女性もいます。

耐える事の尊さ、相手への思
やり、も大事です。でも自分を
はっきりと主張し、生かす事も
事です。

帰り道、友と、これからが自
の人生と言うのに……。

私達は長生きをし、あわてずに
離れをして、自分達の人生を樂
みましょうね、と話しながら、
きがいのある老後を送りたいと
いました。

同級生が欠けるのは、淋しい
のです。(昭二七卒 安藤朋子)

昨一月、第四号が出来て、一二
で級幹事の宛名を書き、会報を
れ発送の準備が出来た時は暗く
つていました。東京の級友より、
「小倉さんの記事も載つて居り、
う懷かしくて、回覧の順番を書
て次の人に廻しました」と電話
頂いた時は嬉しうございました。
会報は母校と同窓生を結ぶバイ
のようなもの、交流と協力が生

出されます様に思います。
夏に石坂照子さんの講演を聴かせて頂きました。アメリカに在つて、「母国が、母校が涙が出る程悲しい。」掛けそうになった時は、好きで選んだ道だと自分に言い聞かせている。と在校生に語られたのが印象的でした。

(昭二六卒 小松テル子)

総会当番学年ということで、二月から役員が何度も集まり打ち合わせをしました。打ち合わせといふものの私どもは当番三学年のうち、最下級で上級生の方が段どりをして下さった結果を聞いて、質問したり少し意見をのべたりする程度で、至つて春気な気分のものでした。四年も五年も上ののかたでないと親しみより、おつかない感じになるのですが、接続三か年のこの組み合わせは仲々良いものでした。

クラスのことでおしゃべりに夢中になり「ホラ、静かにして」と学校時代そのままのムードで注意されたり、「これはおねえさま方にお願いしまーす。」などとすつかり昔にかえった気持ちでした。上の学年のかたがたは講師の依頼や広告その他のいろいろなことで大変にご苦労なさつたようです。

例年の総会出席者はそう多くないのでそればかり心配していましたが、当番各学年ともクラス会や学年会などを総会前日や当日に開いたりしたので、一勿論その他の方がたも多勢おいでになられたわけですが、今までなく沢山の参会者があつて、ひと安心いたしました。私どもの開いた学年会には、名古屋、東京方面からわざわざ出席して下さった方もおられて大変嬉しく思いました。

会長さんはじめ事務局の先生方上級生の皆さまのおかげで今年の大行事が無事終わり、大してお役に立たなかつた私ですけれどホッとした。

そのホッとしたところに今度は会報編集長の集合命令がくだり、「母校へ」という次第。

ない頭をしづらしながら「母校のようす」を若い二人の素晴らしさ協力をいただいて一部担当いたしました。(昭二〇卒 遠藤静子)

秋も深くなると、又々編集の時期が訪れてまいります。

今年はどんなおしらせがあるかとお配りする前に、楽しませて頂く果報に感謝しております。

同年の右
頂けまして
私達を三士
つてあります
た懷しい用
省エネリ
た私達には
与えられま
（昭六章）

同年の右
頂けまして
私達を三士
つてあります
た懷しい用
省エネリ
た私達には
与えられま
（昭六章）
校庭よりま
紅葉し、室
しい頃が、
員会で何時
例年の車
老若区別な
に仕事が済
た。八十年
す。この今
を認識して
の方々のわ
充実した時
材して、ニ
母校の時
力御助言を
さるようう
ったといふ
編集委員
—イニ
我家自慢
の銘菓など
の新しさを
写真左 遠
右 井

